

# Kazuki Hiramine/2018 Season Report



## はじめに 株式会社 air-J 様へ

まずは、本年度もご支援そして応援して頂き、誠に有難うございました！

今シーズン、全てのレースを終えましたのでお知らせしたく、このような形でご報告させて頂きました。年末になり大変お忙しいところ、恐れ入りますが、目を通していただけますと幸いです。

何卒、よろしくお願い申し上げます。

## Super GT Series 300 Class Team JLOC #88 Manepa Lamborghini

第1戦 岡山国際サーキット	予選1位 決勝7位
第2戦 富士スピードウェイ	予選12位 決勝9位
第3戦 鈴鹿サーキット	予選14位 決勝4位
第4戦 チャング・インターナショナル	予選一位 決勝6位 (予選は車検落ちで失格)
第5戦 富士スピードウェイ	予選28位 決勝6位
第6戦 スポーツランド菅生	予選17位 決勝5位
第7戦 オートポリス	予選8位 決勝13位
第8戦 ツインリンクもてぎ	予選1位 決勝27位
シリーズランキング10位	

・今シーズンは、ランボルギーニのワークスドライバーである、Marco Mapelli 選手と組む事になり、彼のお陰もあって沢山の場面で#88 Manepa Lamborghini の速さをアピールしてきたと思います。

しかし、残念だったのが、今シーズン一度も表彰台に登ることができなかったことです。

予選では実質2回のポールポジションを獲っているにも関わらず、決勝では上手く流れを掴むことが出来ませんでした。しかしながら、自身が Marco 選手と組めたことは、とても貴重な経験だったと思っています。なぜなら、自身は**世界そしてヨーロッパで通用するレーシングドライバーになる！**という目標を持っており、まさに Marco 選手は GT3 でヨーロッパのトップカテゴリーに参戦しているドライバーで、数々の好成績を残しています。そんな Marco 選手と今シーズンは、直接比較する事が出来、自身のレベルがどれ程かを色々な場面で知ることが出来ました。今後の自身のレベルアップに向けて、しっかり生かしていきます。





## Super 耐久 Series ST-X Class Threebond 日産自動車大学校 KONDO Racing

第1戦 鈴鹿サーキット	予選1位 決勝2位
第2戦 スポーツランド菅生	予選4位 決勝3位
第3戦 富士スピードウェイ	予選 位 決勝 位
第4戦 オートポリス	予選1位 決勝1位
第5戦 ツインリンク茂木	予選1位 決勝6位
第6戦 岡山国際サーキット	予選4位 決勝1位
シリーズランキング2位	

・今年の Super 耐久シリーズは、非常にタフなシーズンだったと思います。6 戦中 5 戦を参戦する事となった今シーズンは 1 戦分少ないポイントでシリーズを戦わなければなりません。更に、欠場となったレースはシリーズの中で一番多くのポイントを稼ぐ事が出来る第3戦の富士 24 時間レース。シリーズを戦う上でタフなシーズンになる事は、チーム皆が覚悟の上でした。自身もチームの結果に貢献できるように、懸命に取り組んできました。結果的には 5 戦中 2 勝を挙げ、シリーズでは 2 位で終了。また、24 号車 KONDO Racing は今シーズンをもって Super 耐久を卒業することとなりました。最終戦ではシリーズ 2 位獲得に向けて、沢山のライバル達とバトルが繰り返される中、優勝し最後のレースで有終の美を飾ることが出来ました。この 3 年間、Threebond 日産自動車大学校 KONDO Racing の C ドライバーとして Super 耐久に参戦できたのは、自身にとってとても貴重な経験でした。耐久レースですので、長いレースの中で自分自身に求められている仕事は何か、またその仕事をしっかりこなす為には、どんな準備をしなければならないのか、切磋琢磨しながら沢山の事を学ばせて頂いたと思っております。今後、自身のレース活動でもしっかり生かしていける様に取り組んでいきます。





## Japan Rally Cross RX-D1 Class Team Orange

Exhibition Race 予選4位 決勝2位

・今大会も Team Orange 様より、チャンスを頂きラリークロスに参戦することが出来ました。

この大会では元 F1 ドライバー、GT ドライバー、D1 ドライバー、全日本ラリードライバーなど、非常に豪華でレベルの高いドライバーが参戦しています。特に今の自身にとってラリークロスは、ドライビングするにあたって必要な感覚を磨くのに、最適なレースと言えます。ダートが混じったコースでは、每周大きく路面が変化するので、その路面にあったライン取り、車の向きの替え方などアジャストしていくのに、とてもドライバーの技量をもとめられます。更に、レース中に1度通るように義務付けられているジョーカーレーンなど、頭を使う事が短時間でとても多いです。他のカテゴリーとは違い、違った走り方や考え方が出来ることは、とても新鮮ですし、沢山頭を働かせることになります。

また是非、参戦できる機会がありましたら、挑戦したいです。



## Summary

2018年も沢山のレースに参戦し、嬉しい時、悔しい時もある中で多くの経験を積むことが出来ました。

これも、応援して頂いている皆様のお陰だと強く感じております。何よりも好きな事を仕事として出来るのは、幸せな事ですし、感謝の気持ちを忘れないようにしなければと思います。

今シーズンは、全体的に満足いく結果を全て残すことは出来ませんでした。一つ一つのレースが自身にとって大切なレースでした。一番、印象的だったのは、Super GT 最終戦の予選でコースレコードとポールポジションを獲得した事です。あの時は色々な気持ちが込み上げてきましたが、今ではもっとハイスペックなドライバーになる為に足りないところを分析し、準備に努めています。

そして、来年のレース活動に関しましては、現在交渉中となっており、もう少々お待ちいただければと存じます。決まり次第お伝えできるように頑張ります。どうか、引き続き応援そしてご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

